

社名	株式会社 鳥羽洋行 (英文表記 TOBA,INC.)
本社	東京都文京区水道二丁目8番6号
設立	1949年12月14日 (創業: 1906年9月15日)
資本金	11億4,800万円
事業内容	制御機器、産業用ロボット、計測計装機器、コンピューター、電子機器、搬送機器、建設・管工機器、ファスナー、環境整備機器、機械工具、工作機械、理化学機器、化学工業薬品類等の販売及び輸出入。 上記に関する生産設備効率化のためのコンサルティング。 機械工具器具とその部品類の加工販売及び輸出入。 古物売買業。 土木建築工事の設計、施工の請負業。
従業員数	連結 250名 / 単体 222名 (嘱託社員を除く) (2019年9月30日現在)

## 株主メモ

## Shareholder Memo

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
配当金受領株主確定日	3月31日 中間配当を行う場合は、9月30日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 [電話照会先]	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 ( <a href="http://www.toba.co.jp/">http://www.toba.co.jp/</a> ) ただし、やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

## 第71期 中間報告書

## Interim Business Report 2019

2019.4.1 ▶ 2019.9.30

先端技術で社会と産業の進化を支える

**株式会社 鳥羽洋行**  
 証券コード: 7472

## 株主の皆様へ

## To Our Shareholders



2019年12月

代表取締役社長  
鳥羽 重良

平素は、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第71期中間期(2019年4月1日から2019年9月30日まで)のご報告にあたり、ご挨拶申し上げます。

当中間期における世界経済は、米中の貿易摩擦の長期化による中国経済減速の影響が拡大し、減速傾向が続いております。また、わが国経済も世界経済減速の影響を

受け輸出が低迷し、設備投資に慎重な姿勢が見られるなど、減速傾向が強まっております。

このような経済環境下で当社グループは、自動車の次世代技術の導入等により、自動車・車載部品に関連する得意先からの受注は堅調に推移しているものの、米中貿易摩擦の長期化や半導体市場の成長鈍化の影響を受け、半導体及び半導体・液晶製造装置やスマートフォン等の電子部品に関連する得意先を中心に設備投資が減少し、グループ全体として前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、売上高は121億69百万円(前年同期比15.3%減)、営業利益は6億14百万円(前年同期比36.6%減)、経常利益は6億77百万円(前年同期比34.1%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は4億62百万円(前年同期比34.8%減)となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 制御機器 生産工場の構成には欠かせない

### 売上高32億82百万円

制御機器は、空気圧機器、電子センサー、圧力センサー、流体継手、真空機器、緩衝材等で構成されており、主としてデジタル機器、半導体及び半導体・液晶製造装置、基板実装機、自動車・車載部品等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期の当部門におきましては、半導体市場の減速が大きな影を落とし、半導体及び半導体・液晶製造装置に関する得意先を中心に設備投資が減少したため、空気圧機器や流体継手等の販売が大きく減少しました。また、物流システムや一部の電子部品に関する得意先からの制御機器の受注も減少する結果にいたっております。

以上により制御機器全体の売上高は前年同期を下回る32億82百万円(前年同期比23.2%減)となりました。



## FA機器 工場の自動化・コストダウンを実現

### 売上高64億46百万円

FA機器は、産業用ロボット、自動組立機、表面実装システム、レーザー加工機、精密塗布装置等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、半導体及び半導体・液晶製造装置、OA機器、医療機器等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期の当部門におきましては、国内では自動車の次世代技術CASE (Connected [つながる]、Autonomous [自動運転]、Shared [共有]、Electric [電動化]) の導入等により、自動車・車載部品に関する一部の得意先への産業用ロボット及び表面実装システムの需要は堅調に推移したものの、半導体市場の減速の影響により半導体及び半導体・液晶製造装置に関する得意先からの需要が減少しました。また、国外ではスマートフォン等に使用される電子部品に関する得意先からの産業用ロボットの受注が大きく減少しました。

以上によりFA機器全体の売上高は前年同期を下回る64億46百万円(前年同期比14.4%減)となりました。



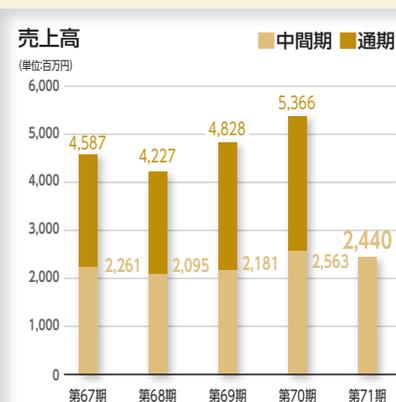
## 産業機器 生産組立て作業に使用されている

### 売上高24億40百万円

産業機器は、電動ドライバー、アルミフレーム、無人搬送車、コンベア、揚重機、ろ過フィルター、環境システム等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、医療機器、精密機器等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期の当部門におきましては、米中貿易摩擦の長期化の影響等により、国内の幅広い得意先における設備投資が低下したことに伴い、当部門の取扱商品であるコンベア、アルミフレーム等の産業機器の受注が減少しました。しかし、半導体市場の減速の影響を受けたものの、半導体向け消耗品であるろ過フィルターの販売は堅調に推移しました。

以上により産業機器全体の売上高は前年同期を下回る24億40百万円(前年同期比4.8%減)となりました。



## 『自動化・省人化ロボット展』・『関西 機械要素技術展』に出展

第2回 自動化・省人化ロボット展  
開催日程 2019年7月24日～7月26日  
会場 東京ビッグサイト

第22回 関西 機械要素技術展  
開催日程 2019年10月2日～10月4日  
会場 インテックス大阪

新規顧客の開拓や既存得意先への拡販を主たる目的として、昨年から引き続き2回目の開催となる「自動化・省人化ロボット展」及び「関西 機械要素技術展」に出展いたしました。

当社ブースでは、ニーズの高まっている協調型ロボットを中心に、自動化・省人化機器 (FA機器) や、生産工程の供給から排出までの一貫ラインをイメージした搬送系など、開発部門、製造部門、生産技術部門など部署を問わず、参考にさせていただけるような展示を仕入先メーカーの協力のもと実施いたしました。その結果、関東では昨年を上回り、関西でも多数のご来場をいただきました。

当社では、国内外の生産現場における品質向上や生産性の向上、省人化・省力化のお役に立てるよう、先端技術サービスを積極的に提供してまいります。



第2回 自動化・省人化ロボット展



第22回 関西 機械要素技術展